

D号館跡地に新棟を建設

崇城大学（熊本市西区池田4丁目、中山峰男学長）は、同地池田キャンパス内のD号館跡地に、新棟を建設している。完成は来年8月の予定。

場所は同地のいこいの広場東側。鉄筋コンクリート造り3階建てで、建築面積1150㎡、延べ床面積3044㎡。1階がカフェ、軽食スペースなどを備えた学生交流スペースに、2階がアクティブラーニング室と多目的室3階が座席数832席の大講義室になる。建物は、南、西、北側にかけて大きな半円形の弧を描く外壁全面がガラス張りとなっている。新棟の名称については同大学生から募集しており、今年3月から4月頃に決定する。

パイロット目指す学生向け奨学金制度をスタート

同大学では、新たな奨学金制度「未来のパイロット」の募集を平成30年度入試からスタートする。

パイロット養成を行う崇城大学、桜美林大学、東海大学、千葉科学大学、日本航空大学校、新日本航空(株)の民間養成機関6者からなる、一般社団法人航空機操縦士育英会が、将来パイロットを目指す学生の学費負担軽減を目的に設立した無利子貸与型奨学金制度。崇城大学では、工学部宇宙航空システム工学科操縦学専攻の学生を対象に、500万円を最大5人に貸与する。返済期間は卒業後10年間。保証手数料にあたる運営費用は、民間養成機関6者とANAホールディングス(株)、日本航空(株)が協力し負担する。